



近代 文学史

に銘記されるべき

『煤煙』

—— 北方謙三

作はいささか冗漫に始まる。が、徐々に読者を緊縛し始める。後半に至り、主人公の悪辣さはしばしば捧腹絶倒の喜劇と化す。笑いの隣に地獄がある。

現役作家 100 人、主要 505 作品を
〈厳正〉かつ〈徹底的〉に採点！

作家の値うち ^{スーパー} 令和の超ブックガイド

小川榮太郎 著 飛鳥新社

